

# 裕也

Yuya ☁ interview  
歴代代表インタビュー

12期   
ひとこなぎ

炎とびとう  
とアオハル

interviewee ゆうや  
interviewer ポリタ  
camera/editor たしひ

# Poncho





## 歴代代表インタビュー

12期「ひとつなぎ」

# ゆうや



学生チームと社会人チームの2チームで代表経験のある男の話し。

- 2008年 よさこいチーム炎 代表
- 2010年 夢源風人加入
- 2011年 ぴとう初の小旗隊
- 2012年 事務局
- 2013年 代表



# 「やっぱり、よさこいがいい」

## INTERVIEW

—— 歴代代表インタビュー、早いもので3回目です！今回は12期の代表に来ていただきました！早速、自己紹介を！

初めましての方ほとんどだと思のですが、久しぶりの方はお久しぶりです。12期の代表していましたゆうやです。

2015年の万華鏡まで踊り子していましたっ！今はスタッフとしてチームにかかわっています！よろしくおねがいします！

—— 現在登録している人数は100を越えています、シンフォニーから入ってきたメンバーが多いので、初めましてが多いと思います。ちひろの旦那です。雑（笑）。そうです、ちひろの旦那のゆうやです。

—— では、12期代表のゆうやのお話伺いたいと思います。

よさこいとの出会いについて教えてください。

出身は大阪で、高知の大学に行きました。

それまでは、よさこいの「よ」の字も全く知らなかったんですけど、入学して学部の先輩の「楽しく友達つくりよう」という企画の中で、よさこいやってる先輩がいて、ちよっと面白そう、と思ってやってみたら、どっぷりはまってしまったって感じです。

—— 本当に高知に行くまでは知らなかった？

—— 高校のときにするとは思ってなかったです。チームは高知大学と高知県立大学の学生チームで、「よさこいチーム炎（ほむら）」です。

—— では、ほむらの時代のお話を。

やっぱり高知のチームなので、よさこい祭りをメインに活動してる？

そうですね。よさこいを基準に、曲や振付、衣装を制作していました。

1年間通して練習とかもしてたので、近くの香川県だとか福岡県、1度神戸よさこいとかもありますね。

—— 結構、遠征とかもしてたんですね。

—— 他には、ときどき大学内で踊って新入生を迎えたりとか、定期的には活動していました。

—— 勝手なイメージですけれど、まず鳴子の鳴らし方から始まるんですか？

あんまり鳴子得意なチームじゃなかった！

—— 触れるな危険（笑）

高知の大学やけど、踊りではちやけようって感じが強かったからかな（笑）でも、よさこいのルールはしっかり守るように、鳴子を持って前進することを大事にしました！！

—— 大学デビューしたゆうやなんですけど、実はただ1踊り子ではなくほむらの時代でも代表を？

—— やりました！

—— 学年が上がって、その年の代表誰がやる？やりたい人？みたいな感じになって、「じゃあ、俺やる！」って立候補しました。

—— 学生チームの代表って、どんなことするの？

やること多かったです。演舞の根本を作ったのが代表なので。

—— ぴとうの代表はチームを運営していくことがメインって感じでしたけど、炎の代表のときは踊りの演舞自体がメインでした。

—— 代表とは別に事務的なことを担ってくれるスタッフもいました。

—— ありがとうございます。では、ぴとうのことを聞かせてください。まずは、出会ったきっかけを。

卒業して大阪に戻ってきた、その年は、炎が十周年だったのでOBが集まったチームで踊ってました。

その夏が終わっても、踊りたいなと思って：これが沼ですね。（笑）

大阪でチームを探しました。仕事柄土日が仕事なので、平日に練習できる環境がいいなと思って、見つけたのがぴとうでした。

—— ぴとうに入ったのは、2010？

—— なんかずっと小物やっていたイメージがある。（笑）

2010年です。9期と10期の変わり目あたり。小物のイメージ？は、なんでやる？炎の時は、ずっと鳴子をしてたけど、10期で小旗して、そのあとは纏とかもしてたからかな？実はMCとかもしていました。

—— 社会人になってもよさこいを続けたいと思っただけやさん。

今回の本題です。社会人チームで代表することを想像してた？

全く想像してなかった！踊れたら良かった。(笑)

ぴとうの歴代代表の多くが立候補で代表になってたんですが、僕の場合は立候補がいなかった。チームがなくなる危機でした。その時に推薦という形であげていただいたのが僕だった。1番に声をかけてもらっていたのは嬉しかった。たくさんの人から推薦をいただいていたことも聞いて、がんばってみようかなという思いが芽生えて決めました。

—— 推薦をもらったときに、すぐやろうと？ 悩みました。

2年間、チームを楽しませてもらって、代表がいなくなるとチームがなくなるのは嫌だ。みんなとよさこいを続けていきたいという思いがありました。そのときには深くは考えでなかったかもですけど、根底そんな感じかな。

—— 代表になった、12期。この年の演舞は「ひとつなぎ」というテーマでした。テーマは、どう決まったんですか？

みんなから案を出してもらって、その中でチームとしてやっていきたいという思いを基に選びました。踊り子やスタッフみんなで作り上げたものが夢源風人というチームの演舞になるので、みんなで思いをつなげる「目には見えない思いのつながり」というチームコンセプトも含めて、「ひとつなぎ」を選びました。

—— この年の印象深いものは、衣装ですね。

ポンチョですね！なかなかないかもしれないですね。

前から見たら一緒だけど、後ろ姿はみんな違う。多くて2、3人しか被らなかつたですね。MLで生地画像を送られてきて、「この中から選んでください」先着順です！って感じでした。(笑)

—— 高知の動画とか見ると後ろ振り向く振り回手を広げたときにいろんな柄がパツとでるっていうあの場面は印象的でした。

ぴとうに入る、踊る楽しみて、人それぞれだと思ふんです。それを、後ろのポンチョの柄で表現しました。みんなの思いを合わせて一つの演舞にする、チームが表現したいものを、表向いたときの統一感のある薄紫の衣装に込めました

話を聞いた上で、「ひとつなぎ」を観ると統一感や一人ひとりの個性が表現されている演舞なので、みなさん、ぜひ。検索して観てください！

お願いします(笑)

—— 学生チームと社会人チームの代表を経験した人は、ぴとうではゆうやだけだと思ふんです。学生チームの代表と社会人チームの代表、何が違いますか？

学生チームの代表は、演舞を作っていくイメージでしたが、社会人チームの代表は一つひとつの方向性とか、思いが皆さんそれぞれしっかりしていて、それを大切にしながらどうまとめしていくかというのは苦労しました。自分のやりたいところも出して、というのは難しかったです。そういった面で1年間やり遂げたことはなにかしら自分の身にはなりましたかね？と思ひましたね。



—— 学生の場合は、みんな大学生で同じ時間がある中でやってたのが、社会人になってみんなバラバラの時間、仕事を抱えている中で、大阪から高知へ行く一大プロジェクト、会社で言う社長というポジションをしっかりと行って行かないというのは大変？

そうですね。振り返ってみると、いい経験はさせてもらった。

大変だった反面楽しかった！と今なら思えるかな！

—— そこからしか見えない景色ってあるもんね。さて、今は、ぴとうの踊り子はしてませんが、どこかで踊ってるの？

よさこいは続けています。今は青ノ春というチームで踊っています。高知も出て、よさこい祭り本番はかつおくとみずほと一緒に踊ってました！

—— やっぱりよさこいは止められない沼なんやね。まあ人のこと言われへんけど。(笑)

いろんなチームを経験しているからこそわかる、ぴとうのいいところは？

今年の夏、2019年。初めて高知に行く人もたくさんいますので、その人たちにも向けて。

すごいしっかりしてるチームです！

大阪から高知に行くチームで、そして踊りも初めての人が多くいる中で、スタッフさんの健康管理やチーム運営、踊り子一人ひとりが楽しめるように、細かく細かく計画を立てて楽しめる環境を作れている体制はすごいなと思います。

もし機会があれば高知よさこいの事務局やスタッフの全体スケジュール表を見てみてください。(笑)

初めて参加される方は、安心して踊ってください！何かあってもスタッフさんが万全な体制を整えてくれてるので、そこはご安心ください！

—— では最後に大学で知ったよさこいを今も続けてるゆうやが思う、その魅力は？

楽しむ場所ということ。それぞれの楽しみ方があるけど、仕事や学業がある中で自由に楽しめるのがよさこいの魅力かな。

他のダンスもあるけど、やっぱりよさこいがいい。

—— 最後の言葉、めっちゃいい。

—— ありがとうございます！

12期代表ゆうやでした！

今年の高知は、ぴとうのスタッフとして参加します！

よろしくお願ひします！

ありがとうございます！